

年末年始のお知らせ  
仕事納め 12月29日(土)  
仕事初め 1月5日(土)  
事務処理は12月28日迄、通常業務は1月7日より

# 建設長崎

December  
No.510  
2007年12月15日

1部20円 組合員の購読料は組合費に含ます

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番53号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 発行責任者●北村政和 編集人●田上一郎 印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

## 来年度予算要求満額確保を求め、6,600人が集う

十一月二十二日 午後一時三〇分、東京・日比谷野外音楽堂に全国から四十八県連・組合六、六〇〇人の仲間が集集し、来年度予算要求満額確保に向けて各省庁へ要請行動を行いました。主催者を代表して、伊藤中央執行委員長が「情勢は厳しいが満額確保に向けて全国の仲間による一致団結した力で乗り越えよう」とあいさつ。

来賓あいさつでは、高木義明衆議院議員、洲上貞雄参議院議員他から、連帯激励のあいさつをもらい、東京駅周辺までデモ行進を行いました。

長崎の代表団四人(相川副委員長、北村書記長、船津常務、池田主任)は、厚生労働省・保険局の交渉団に入りました。



## 全建総連11・22中央総決起大会

予算要求・生活危機突破

ているが、被用者保険と国保の統合を議論してはいない」としました。

また、特別助成等の満額確保へ向けた財務省との交渉について、特別助成の中にある特定保険指導体制の整備に要する経費を補助する生活習慣病予防事業分七億円の確保が厳しい事を強調

また、来年四月からの特定健診・保健指導や高齢者医療制度により、費用負担が増えるための対応については、「高齢者医療制度の各保険者の影響額を最終的に精査しており、新しい指数を示していきたい。精査が終わった後、必要策に付いては皆さんとも相談しながら検討していきたい」とのことでした。

また、都道府県からの特定健診・保健指導の補助を課長を含め三人が対応。全建総連からは折谷副委員長を団長に五十七人が出席。要請書を渡し、国保組合への特別助成二百八十一億円に、特定健診等補助金二十四億八千万円を合わせた特別助成等三百五億八千万円の満額確保を訴えました。



▲ 厚生労働省・保険局へ要請

求める運動については、「東京都が予算計上したのであれば一歩前進だ。これから国保課として都道府県の実況を把握していきたい。」と回答。

最後には神田課長が「必要な予算を皆さんの力を借りながら確保していきたい」と決意表明をし、それに対し参加者一同拍手をし、一層の奮闘をお願いしました。

概算要求満額確保に向けてみんなで頑張りましょう！

国保予算ハガキ  
18,076通

組合では、長建国保の運営に欠かせない平成二十年

度国保助成金(補助金)の満額確保に向け、組合員・家族の皆様にはハガキ要請の取り組みをお願いしたところ、一万八千七十六通の要請ハガキを集約することができました。特に佐世保北、北松、平戸の三支部が目標の組織の二・五倍を達成し、取り組みに大きな力となりました。

ハガキ要請は組員と家族の声を直接伝える運動です。組合は山のように届いたハガキに無駄がないように点検し、厚生労働省と財務省へ全通投函しました。今回のハガキ要請行動にご協力いただいた組員・ご家族の皆様は心より感謝申し上げます。

各支部の集約状況  
平成19年11月13日現在

| 支 部 名 | 集約数(枚) |
|-------|--------|
| 中 央   | 1,140  |
| 大 市   | 644    |
| 東 浦   | 1,020  |
| 南 崎   | 1,021  |
| 長 上   | 1,839  |
| 西 東   | 733    |
| 彼 早   | 1,428  |
| 村 原   | 1,633  |
| 佐 世   | 902    |
| 保 保   | 1,000  |
| 中 東   | 1,875  |
| 北 松   | 1,590  |
| 戸 部   | 1,575  |
| 平 本   | 910    |
| 本 合   | 651    |
| 計     | 115    |
| 合 計   | 18,076 |



「協力ありがとうございました」

## 一二〇名の仲間が、安全を誓う!!

### 労働安全推進大会「長崎・県央地区」

### 労災事故撲滅「安全功労で十名表彰」

十一月九日(金)にウエルシ

ティ長崎(長崎厚生年金会館)に於いて「建設長崎労働安全推進大会」が、総勢一二〇名の参加で開催されました。

この安全大会は長崎・県央地区と県北地区が隔年おきに開催するもので、今年

は長崎県央地区で開催されました。

大会の前に記念公演を行い「木造住宅建築工事における安全対策」と題して、長崎労働局労働基準局安全衛生課地方産業安全専門官の篠崎成吾氏より講演があ



労働安全功労受賞受賞者 (敬称略)

|       |           |         |
|-------|-----------|---------|
| 若杉 重信 | 若杉 建設     | (中央支部)  |
| 相川 政敏 | あいかわ建設    | (大浦支部)  |
| 小松 満喜 |           | (市南支部)  |
| 野口 博之 | 野口工務店     | (東長崎支部) |
| 中尾 貢  | (有)中尾住宅産業 | (浦上西支部) |
| 小田 良太 | 小田建設      | (浦上東支部) |
| 森 良太  | 森建設       | (西彼支部)  |
| 木下 忠明 | 木下工業      | (諫早支部)  |
| 平内 末雄 | 平内左官工業    | (大村支部)  |
| 山田 哲夫 | (有)山田組    | (島原支部)  |

執行委員長より、現場災害の撲滅を図る功労賞の受賞者は左記事業所です。

その後「労働安全功労賞」の表彰を行い、各支部から推薦された十名の事業所が表彰されました。

最後に浦上西支部古川支部長より「安全の誓い」が宣言され皆さんの拍手で採択されました。

本大会で表彰された安全功労賞の受賞者は左記事業所です。

**県議会だより** 7

皆さんこんにちは、早いものでもう十二月、十一月中旬から急に冷え込んできました。一部の記事では、夏のはじめに書いた、秋がないうというコメントを發表してしまいました。

寒さ厳しい季節を迎えます、お体を大切に、また、安全に気をつけてお仕事にお励みください。十月十一月は行事が本場に多い時期になります。

十一月七日から九日まで経済労働委員会の県外視察で神奈川県に行ってきた。県産品のセールの開かれていた。玉川高島屋、さすが首都圏のニュータウンに立地するだけあって、人の出入りは長崎と比べた違いです。

後、産業立地の状況視察で、製造業の現場や展示施設などを回ります。最終日は、神奈川県庁で商工労働部との意見交換、行政規模の差も非常に感じた視察でもありました。

# ものづくり フィスタ 2007

## 体験コーナーは 2日間ともに大人気

「ものづくりの楽しさ」について再認識してもらうことを目的に、十一月二十四日～二十五日の二日間『ものづくりフェスタ2007』が、長崎市浜んまち

ベルナード観光通りで開催されました。

県・県職業能力開発協会そして県技能士会連合会が主催

催しには建築や服飾・フラワー装飾・調理等の出展ブースがあり、それぞれ技能士による実演や作品展示がありました。

建設長崎（技能士会）のブースでは、神社仏閣仕様「二軒の模型」展示と、「万能腰掛け」製作を行いました。

体験（製作）コーナーでは、両日ともにたくさんの方で賑わいを見せ、ブース内には、トントン金づちを叩く音が響き渡り、一三〇組（二日間分）を準備した予約券が、すぐに無くなる程の人気のコーナーでした。

製作に参加した親子は、作り上げた作品を見て満足げに持ち帰っていました。



▲「みんなの技能のひろば」長崎高等技術専門学校



十一月二十日、ウェルシティ長崎（長崎市茂里町）において長崎県技能士大会が開催されました。

大会は、今年で三十八回目を迎え、職業能力開発月間（十一月）行事の一環として開催されました。

始めに主催

者を代表して長崎県知事、県職業能力開発協会会長、県技能士会連合会会長のあいさつがあり、来賓祝辞に続いて、叙勲・褒賞受賞者の紹介がありました。

また、「現代の名工」厚生労働大臣表彰受賞者、「優れた技能者」長崎県知事表彰受賞者の紹介後、職業能力開発功労者として、長崎県建設技術学院本部の中山悟さんが表彰を受けました。

今回の平成十九年度前期技能検定合格者は、造園、建築板金、建具製作、とび、左官、内装工など一級合格者一七名、二級合格者一四六名、単一等級合格者四名、三級合格者二二名でした。

## 長崎県技能士大会 前期の合格者二八八名

## 本部主婦会 目 帰 り 研 修 会

県下各地より102名が参加  
テーマに添って4分科会で話し合い



平成十九年十一月五日（月）に本部主婦会日帰り研修会を少し色づき始めた雲仙・『ホテル東洋館』で開催しました。当日は生憎の雨模様でしたが、県下各地より九十五名の主婦の皆様と書記局員を含めて、百二名が参加しました。

岡崎副会長の開会の挨拶で始まり、荒木主婦会会長の挨拶につづいて、金子執行委員長より県議会の様子や、公契約法



の重要性についての説明を交えながら挨拶を頂き、研修会に入りました。

今年は、理事会で提案されたように、四つの分科会に分かれて自己紹介をした後、「組合に入ってからよかったこと」「主婦会活動に参加して」「ご主人の仕事について」のテーマに沿って話し合いをしました。一時間という限られた時間ではありましたが、仕事確保に対する意欲的な意見も出て、実のある話し合いだったよう気がします。

美味しい昼食をとった後は温泉に入る人、カラオケで歌う人など楽しい一時を過ごし、里副会長の閉会の挨拶で終了しました。

**働きながら高度な技術・技能の知識を修得しよう！**

**二級建築士、技能士の資格取得の早道 平成20年度学院生募集**

詳細についてのお問い合わせは各専門学院までお願い致します。

| 学院名         | 所在地            | 電 話          | 募集人員  |       |
|-------------|----------------|--------------|-------|-------|
|             |                |              | 建築設計科 | 木造建築科 |
| 長崎建設技術専門学院  | 長崎市城山町17-58    | 095-861-9261 | 20    | 10    |
| 島原建設技術専門学院  | 島原市秩父ヶ浦町2669-8 | 0957-63-1297 | 10    | 0     |
| 大村建設技術専門学院  | 大村市玖島1丁目49-2   | 0957-53-8385 | 10    | 0     |
| 佐世保建設技術専門学院 | 佐世保市大黒町534-18  | 0956-33-0944 | 10    | 0     |

## 東長崎支部[古賀分会]



**土** 月三日(土)前日からの急激な冷え込みにより、すっかり秋模様となった文化の日、茂木分会では『茂木地区ふれあい祭り』に合わせた住宅フェアを、組員・主婦会合わせて十八名の参加で、茂木のフェリー乗り場において開催しました。

『茂木地区ふれあい祭り』に合わせた住宅フェアを、組員・主婦会合わせて十八名の参加で、茂木のフェリー乗り場において開催しました。

## 「地区ふれあい祭り」で住宅デー



## 中央支部[茂木分会]

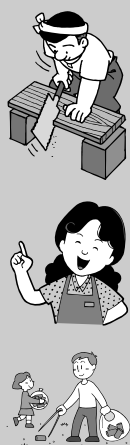
『マナ板削り』では、真ん中がボッコリへこんだマナ板を持って来られる方が多く、持ってきたマナ板が半分以上削られる事もしばしば見受けられたり、カンナ屑からは時おり魚の匂いが漂ったりしていました。

包丁研ぎの方では研ぎ手が幾分少なかつたにも係わらず、毎日のように魚と格闘しているであろうと思われる歯が凸凹した出刃包丁や刺し身包丁などを丁寧に研ぎ上げていました。

午後からは田上市長がお見えになり、建設長崎のテナントに立ち寄られ坂口支部長が作られた花台を購入していただき、それを手に持って主婦会の皆さんと記念撮影といった一場面もありました。



## 支部だより



## 来場者には、

## まな板・スノコのプレゼント

**土** 月十一日(月)、つつじが丘一・二丁目集会所にて、古賀分会住宅デーを開催しました。

は盛り上がり、つづいなかには、昔大工さんに貰ったカンナとノミを日曜大工で使いたので、研いで下さいという人も現れ、研いだついでにカンナ台を手直ししてやると、その削れ方に驚き、来年も是非ここで、開催して下さいとお願いされました。

初めての会場で、しかも住宅街ということもあり、どれだけの来客があるのか心配しましたが、まな板・スノコのプレゼントというチラシ配布の効果もあり、多数の来場者が訪れ、会場

また、住宅相談もあり、

東長崎支部古賀分会(敬称略)  
参加者 牧島 貢 岩永 和範  
寺田 正徳 井手 貞夫  
松田 六広 赤瀬 勇  
若杉 一之 藤本 稔美  
赤松 明敏 野口 博之  
木下千代蔵 牧島 愛子  
里 雄二郎 松尾 昭幸  
本田 隆彦 荒木 八男  
渡辺のり子

## 64名の参加で グラウンドゴルフ大会



## 大村支部

の役員さんの事前準備のお陰だと思えます。今回は更に盛り上がるようにしていきたいと思えます。(立野)

**十** 月二十八日(日)、大村市民体育館跡地において、支部レクリエーションとしてグラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、青空広がる大変良い天気恵まれ、六十四名の参加者で賑わいました。グラウンドゴルフは初めてプレーする人も取り組めるスポーツで、今回は、分会の協力と、開催に至るまでの役員さんの事前準備のお陰だと思えます。今回は更に盛り上がるようにしていきたいと思えます。(立野)

## 十数年ぶりに支部旅行

## 大浦支部



**絶** 好の行楽日和に恵まれた十一月十一日(日)、大浦支部では組員・主婦会合わせて二十四名の参加で十数年ぶりの開催となる支部旅行を二泊二日の行程で行いました。

今回は一日目がアルコール堪能コースで、日田のサッポロビール工場と、いちご蒸留工場の見学を行いました。試飲コーナーでは出来立てビールや焼酎の原酒、健康酢飲料などを堪能

能しつつ、お気に入りの商品を購入。また、道中の車内では香ばしいおつまみとお酒の匂いをブンブン漂わせながら二日目は、明礬温泉「湯の花小屋」を見学後、やまなみハイウェイを通り、車窓から紅葉を見学しながら湯布院へ。あいにく小雨交じりの肌寒い天候となりましたが、ガイドさんの先導で金鱗湖を見学後、全体写真の撮影を済ませてから昼食までの間、各自で湯布院の町並を自由散策しました。そして、最後の見学は今年の各支部旅行でブームとなっている『九重夢大吊橋』へ。道中、大渋滞に巻き込まれるアクシデントもありましたが、吊り橋では皆さん寒さと足元のフツツきに時おり気を取られながらも紅葉が見頃を迎えた鮮やかな景色を皆さん楽しんでおられました。

最後に、今回は支部大会後の急な企画にも係わらず参加頂きました皆さん、また次回は今回以上の参加者で、より楽しい支部旅行がおこなえるように、今後とも支部諸活動を大いに盛り上げて頂きたいと思えます。(大賀)



- 第七十八回メーデー
- 賃金宣伝行動
- 九地協青年部交流集会  
（五月十三日・十四日）
- 九州各県連・組合から九五名の若者が長崎で交流
- 九地協企業交渉
- 大手建設・住宅企業24社に対し、九州各県から97名が結集し、要請行動を行う

## 仕事と賃金確保



- 消費税申告受付・一括申告組合を通じて三四九名申告
- 生活危機突破総決起集会  
（三月二十四日）
- 長建国保・健康保険更新受付
- 建設業許可の変更届受付（個人）

## 国保更新



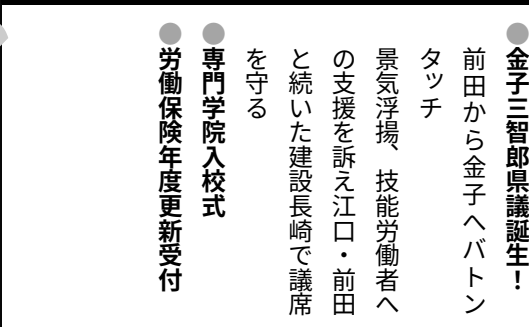
- 建設長崎新春旗開き  
（二月五日）
- 仕事確保・組織強化統一自治体選挙勝利をめざして一九〇名が出席
- 各支部新春旗開き  
（二月十二日・二月二十六日）
- 中小建設業協会新春交流会・新春講演会  
（二月十一日）
- 本部主婦会新年の集い  
（二月二十九日）

## 旗開き



- 青年技能競技大会  
（六月十日）
- 六支部より14名が参加し「四方転び踏み台」に挑戦
- 青年部大会
- 次代を担う青年部員95名が結集
- 支部対抗ソフトボール大会  
（六月三日）優勝：大村支部

## 技能競技大会



- 金子三智郎県議誕生！
- 前田から金子へバトンタッチ
- 景気浮揚、技能労働者への支援を訴え江口・前田と続いた建設長崎で議席を守る
- 専門学院入校式
- 労働保険年度更新受付

## 統一自治体選挙



- 二・一四建設長崎総決起集会  
（二月十四日）
- もうガマン出来ない！怒りの集会（三九八名）
- 所得税の申告受付・一括申告組合を通して二四二八名が申告
- 各支部賃金活動者会議を開催
- 建設技能者・職人の賃金と就労日数の確保を目指し各支部で開催

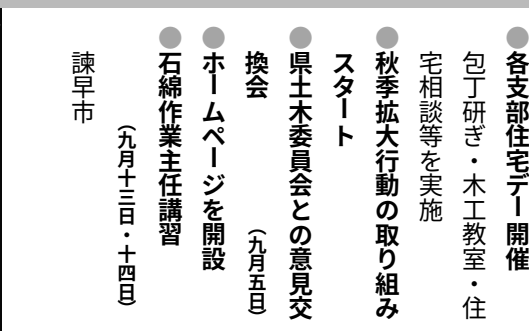
## 税金

# 2007年の主な出来事



- 本部主婦会日帰り研修会  
（十一月五日）
- 労働安全推進大会  
（十一月九日）
- 県土木委員会との意見交換会  
（十一月七日）
- 住宅ローン基礎知識講習会  
（十一月十四日）
- ものづくりフェスタ二〇〇七  
（十一月二十四日・二十五日）
- 長崎県技能士大会  
（十一月二十日）
- 予算要求・中央総決起大会  
（十一月二十二日）
- 建設労働一一〇番  
（十一月二十五日）
- 通信員会議  
（十一月二十八日）

## 労働安全大会



- 各支部住宅デー開催
- 包丁研ぎ・木工教室・住宅相談等を実施
- 秋季拡大行動の取り組みスタート
- 県土木委員会との意見交換会  
（九月五日）
- ホームページを開設
- 石綿作業主任講習  
（九月十三日・十四日）
- 諫早市

## 住宅デー



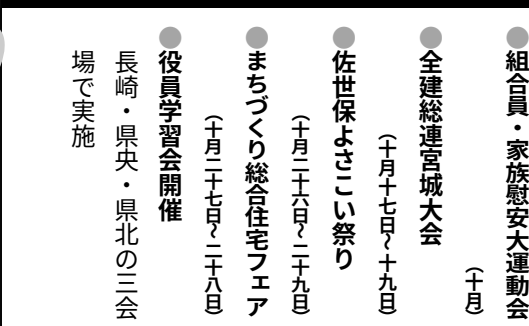
- 建設長崎第六十二回定期大会  
（七月十四日・十五日）
- 活力ある組合づくりに邁進し組合強化拡大を図ろう！
- 七・二三総決起集会
- 賃金・工事単価の確保、労働条件の改善を求めて開催
- 長崎県土木部長交渉  
（七月二十日）
- 第21回参議院議員選挙大久保ゆきしげ（選挙区：山内トクシン（比例区）が当選

## 定期大会



- ハガキ要請行動
- 特別助成満額確保にむけて実施
- 税金学習会の開催
- 労働保険学習会の開催
- 島原市・南島原市・雲仙市・島原振興局交渉  
（十二月十四日）

## 予算要求行動



- 組合員・家族慰安大運動会  
（十月）
- 全建総連宮城大会  
（十月十七日・十九日）
- 佐世保よさこい祭り  
（十月二十六日・二十九日）
- まちづくり総合住宅フェア  
（十月二十七日・二十八日）
- 役員学習会開催  
長崎・県央・県北の三会場で実施

## 運動会



- 各支部大会の開催  
（八月二十日・九月五日）
- 全体一〇七七名が出席
- 原爆殉難者慰霊祭・職人のつどい  
（八月九日）
- 映画「アンジェラスの鐘」を上映し平和を訴える
- 浦上川万灯流し
- 世界の恒久平和を願い開催
- 中小建設業協会第三十二回総会  
（八月三日）

## 支部大会・慰霊祭



## 佐世保市亜熱帯動植物園

# 二十名、熱い心で ボランティア



その園長の思いにいかに対応できるかが大切でした。子熊たちは、どのように動くのだろうか、どのようにしてやったが楽しく園での生活が送れるだろうか。又、来園者が動物を見やすくするにはどうしたら良いのかと考えるながら、  
作るわれわれが、子熊の想いや、来園者、小さな子

十月二十八日、秋晴れの一日、地域の活性化を願い、佐世保市亜熱帯動植物園でボランティア活動。

今回の活動は、動植物園の江頭園長からの要請から始まりました。

突然電話があり、住宅

フェアー等で活動されてい

る、プロの団体のお力を借りたい、市民の力により園を活性化させ、北海道の「旭山動物園」みたいに活性化し、多くの人たちが来園し楽しんでもらえる動植物園にしたい」との熱い思いを話されました。

十九日、業者会役員会を開催。全員一致で、全体会議に掛けることとなりました。

会員の皆さんの同意を得

た。協力がないと実現できないので、会議を開くことにしました。

その前に、小林副会長と

二十八日、ボランティア作業。当日は快晴。

当日参加した会員企業十

四社、事務局含め二十名で

次週以降でないといけない

八時三〇分集合。園の正

面には、「ただいま中小建設業協会によるボランティア活動中」の看板も出しました。作業をする獣舎の周りには中小建設業協会のノボリと看板を立て準備万端

た。

江頭園長の挨拶、感謝

の言葉を受けて作業開始。参加者を二つに分け、成獣舎を業者会の吉元理事、子熊舎を塚本理事をリーダーとして担当。

二十四日、協会総会で決

定し、二十八日、放飼場の遊具、ステージ造りとなりました。

図面は、園長のイメージ図、



▲ ボランティア活動に参加いただいた会員の皆さん

供たちの想いになったの作業となりました。十一時近くになると、テレビ局三局、新聞社三社が取材にきました。

「これボランティアですよ

ね」「皆さんプロジェクトで、本来の仕事ですよ」とある局は不思議そうに感じて聞いてきました。

本来の仕事を「ボランティアでやる」ことは一般的には不思議なことなのかと感じました。その質問には皆

は、自分が役にたつのなら、園や、市の活性化につながって行くようになるという。そんな思いで参加して

るんですよと答えました。お昼は全員がおなじ弁当を食べながら午後からの段取りを話したり、雑談で交流を深めました。

全員が一丸となり、一日を精いっぱい共に頑張りました。我々の願いのこ

もった、遊具、ステージで、子熊が伸び伸びと成長し、

地域が活性化し、同時に中小建設協会の発展と、活性化に繋がっていくことを願

いながら……（西野 勉

## 高齢者医療に関するお知らせ

### 70～74歳の方の窓口負担の見直しについて

今般「与党高齢者医療制度に関するプロジェクトチーム」において、70～74歳の方が医療機関で治療を受けたときにお支払いいただく窓口負担について、次の通り取りまとめられ、政府としても実施することとされましたので、その内容をお知らせします。

尚、正式に上記内容が決定されれば、現在お持ちの高齢受給者証に「1割（H20.4.1診療分から2割）」と表示されている皆様を対象にご案内等を行い、来年3月に新たな高齢受給者証を再発行させていただきます予定です。

### 70～74歳の方の窓口負担について

昨年行われた医療制度改革により、70～74歳の方の窓口負担については平成20年4月より現行1割から2割に引き上げが予定されていましたが、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間は窓口負担が1割に据え置かれます。

※尚、すでに3割負担をいただいている方、および後期高齢者医療制度の対象となる一定の障害認定を受けた方は除きます。

## 県北総支部主婦会旅行

# 鹿児島・指宿の砂蒸し温泉を堪能

今回は自分達だけで行くという平戸観光バスをお願いし、男性添乗員さんが同行し、それが幸いしたのか？笑いつばなしの旅となりました。

正午、鹿児島到着。まずは、焼酎工場見学。本場で飲むと味もまた格別。気が大きくなったところで、送料百円よ、と甘い言葉。早速、日ごろの感謝を込めたような様に送ります。昼食後、桜島経由でいおワールドへ。イルカのショーを見、童心に返りました。

ホテルには六時過ぎに到着。お目当の砂蒸し温泉に大急ぎで浴衣とほつ被りで海岸へ。多くの白い頭が砂の上に並んでいる光景は異様でした。体からは悪いものがすべて出てしまったようで、心も体もリフレッ



シユ。パワーアップした体での宴会は、大盛り上がり、大爆笑の渦です。

二日目もまだまだ馬力は衰えません。（砂ぶる効果おさるべし）最初の観光地

長崎鼻までの車内はカラオケタイム。バスを降りると、

谷隼人が来ているとの声。あつと言う間に取り囲み、

握手や記念撮影です。（写真も載せてね、のリンクエストにお応えして……）この

走り、来年の運動会でぜひ生かして下さいね。晴れ渡る

青空の下、長崎鼻から見る開聞岳・東シナ海は絶景でした。

次に、枕崎から知覧武家屋敷群へ。ここは、薩摩藩の外城で、今も屋敷は、住居として使用され、折れ曲

がった本馬場通りに沿って連なる石垣と生垣の景観が美しく、町並み全体が箱庭

のようでした。行き届いた管理と住人の郷土愛に脱帽です。

最後は、南蔵院・林住職のお話（ビデオ）で旅行の終了。きつと豊かな気持ちで新年を迎えられる事でしょう。

皆様、よいお年を。そして、来年も笑いの絶えない年になりますように……（値賀



谷隼人と記念撮影